

## Monthly Rep. ならやま

◆3月27日(木) 曇り後晴れ 65名+2名

25年度に入会した人、今回新たに入会した人を対象に新入会員歓迎会がお昼に開催された。会費制で、おでん、焼きそば、焼肉・野菜などの美味しい食べ物のほか、甘酒、ビールなどの飲み物も十分準備され、楽しい賑やかな時間を過ごした。食べ物も十分にあり、持参したおにぎりも持ち帰りとなり、奥様から叱られることとなった。

活動は午前中のみで、里山Gではナメコの菌打ち、カシナガ被害木の地際での玉切り。エコファームGではコマツナ・ホウレンソウの播種。景観Gは彩りの森の除草、水路の落ち葉除去、草花を寒さから守っていた霜除け資材の除去。草花も背伸びをしてニコニコ。

◆4月3日(木) 晴れ 57名+5名

県が建設した四阿(あずまや)の竣工検査が行われ、一般使用が可能となった。

里山Gは、カシナガ被害木の下位部分の玉切り。エコファームGは、ニンジン・ゴボウ・マナなどの夏野菜の播種、タマネギの除草。景観Gは、JR横の水路に溜まった大量の枯れ枝・落ち葉・泥の除去作業。第5地区でのスダチ・カキの植樹、BC周辺の除草、ならやま池の生物調査、山野草花壇の大幅な整理。

◆4月10日(木) 晴れ 暑い 64名

5月3日の「わくわく!ドキドキ!お山を歩こう!」のイベントに向けて、パトロール班は親子ハイクのコース・ゲーム課題などを検討。工作班は自然工作の材料となる竹、丸板などの加工を本格化。さらに山での冒険遊びの場所・コース設定も実施。

気温の上昇に踊らされてタケノコが一斉に顔を出し、挨拶にやって来た。

里山Gは、カシナガ被害木の搬出・薪割り・焼却等の処分を急ピッチで実施。太くて重たい切り株の搬送はかなりの重労働であった。



エコファームGは、育苗したナス・ピーマン苗の植え替え、野菜畑の牛糞投入による土壌改良。景観Gは、彩の森の除草、ならやま池のアオミドロ除去、フジバカマ・ニラの植え替え。

◆4月17日(木) 晴れ 暑い 64名+7名

県の森林技術センターからカシナガ被害伐採木の有効利用として、加熱処理による樹幹内のカシナガ幼虫の絶滅と菌接種によるキノコ栽培技術について指導を受けた。1~2年後にはシイタケ、マイタケの発生が期待される。さらにウバメガシ苗利用による本シメジの接種指導も受けた。

県から景観・環境局の次長一行が来られ、現場を案内し、活動状況の一端を見てもらった。

カシナガ被害伐採木の後処理(根株の燻蒸処理)が遅れており、虫の発生時期も迫っているので、総動員してその処理に当たった。



エコファームGは、サトイモ・レタスの植え付け、エンドウの蔓の固定作業。景観Gは、彩の森の除草、第5地区のソバ畑の溝切り、水生生物調査、ジンジャの植え替えなど。(木村 裕)